

平成29年度

橋梁技術発表会及び講演会

参加費無料
定員 **350** 名
申込先着順

会場 仙台国際センター2F 桜

〒980-0856 仙台市青葉区青葉山無番地
Tel.022-265-2211

平成29年

日時 11/10 (金) 13:00~16:50

13:00~13:10

開会の辞

一般社団法人 日本橋梁建設協会
副会長 吉崎 収

13:10~13:25

橋建協報告

～協会を取り巻く環境と課題、取り組みについて～
広報委員会

申込方法

ホームページ(URL) <http://www.jasbc.or.jp/>
の「技術発表会申し込み受け」まで
(受付は平成29年9月29日～10月27日)

申込期限

平成29年10月27日(金)

連絡先

一般社団法人 日本橋梁建設協会 東北事務所
〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町1-1-31(山口ビル)
高田機工(株)内 TEL 022-262-4855

継続教育

CPDS認定予定

他 地 区

東京地区は 10月13日(金) 銀座プロサラムホール
大阪地区は 10月18日(水) ドーンセンター
中部地区は 10月27日(金) 東建ホール
北海道地区は 11月 2日(木) 北海道経済センター
九州地区は 11月17日(金) レソラNTT夢天神ホール

にて開催です。

(6地区開催ですが、発表テーマは異なります)
申し込み等詳細はホームページでご確認願います。

技術発表会(第1部)の発表原稿(論文)は、当日配布をしております。ホームページに掲載しますので、各自ダウンロードして持参して下さい。(PPTの出力は当日配布します)

第1部:技術発表会

13:25~14:05

1.道路橋示方書はこう変わる

～部分係数体系版の改定内容～
設計小委員会 設計部会 金子 修

14:05~14:15

休 憩

14:15~14:55

2.重防食塗装の実際

～重防食塗装の耐候性に関する変遷～
製作小委員会 防食部会
宮下 剛

14:55~15:35

**3.ここがポイント!
保全工事の設計・積算**

～設計・積算[施工]の観点から特殊な保全工事を紹介～
保全委員会 保全第2部会 梅崎将昭

15:35~15:45

休 憩

第2部:特別講演会

15:45~16:45

**道路を取り巻く
最近の話題について**

東北地方整備局
道路部長
阿部 悟



16:45~16:50

閉会の辞

橋梁技術発表会 実行委員会
副委員長 河合 良彦

アクセス



●仙台市営地下鉄東西線「国際センター」下車 徒歩1分

1 道路橋示方書はこう変わる

～部分係数体系版の改定内容～

道路橋示方書が5年ぶりに改定となり、その内容も現行の許容応力度法から部分係数法へと大幅な変更となる。そこで、おもな改定内容や留意点について具体的な設計例を交えながら分かり易く説明する。

2 重防食塗装の実際

～重防食塗装の耐候性に関する変遷～

鋼道路橋防食便覧に重防食塗装系が規定されて10年以上が経過するが、防食下地と高い耐候性を有した上塗り塗料の組み合わせで構成されるこの重防食塗装は、鋼道路橋における塗装の基本となっている。重防食塗装系に関する性能評価結果やメリットおよび今後期待される性能について紹介する。また、箱桁内における部材角部の処理に関する暴露試験途中の結果についても紹介する。

3 ここがポイント!保全工事の設計・積算

～設計・積算[施工]の観点から特殊な保全工事を紹介～

大規模更新事業が高速道路会社や都市高速道路会社などで検討されており、今後本格的な事業開始を迎えることが予想される。しかし、これまでに大規模更新(修繕)工事の事例は少なく、施工した会社では設計や施工(主に積算)において苦勞しながら進めてきたことが予想される。

そこで、本年の保全委員会での発表は、大規模修繕工事に参考となり得る過去に行った規模の大きな補修・補強工事を振り返り、「概要」と「発注者およびコンサルが計画する際の設計・施工(積算)における留意点」に着目した発表を行うことで、大規模修繕工事の適切な計画と鋼橋保全事業の円滑な推進に寄与したい。

特別講演会 講演者紹介

道路を取り巻く最近の話題について

阿部 悟 東北地方整備局 道路部長

一略歴一

2008年3月 東北地方整備局 道路部 道路調査官
2010年4月 道路局 環境安全課 治道環境専門官
2011年7月 関東地方整備局 高崎河川国道事務所長
2013年5月 道路局 環境安全課 道路交通安全対策室長
2015年4月 大臣官房技術調査官
2017年7月 現職

講演概要

復興道路・復興支援道路の進捗について、オール東北の力をもって順調に推移している。また、被災地以外の道路ネットワーク整備についても、国土強靱化や地域活性化に欠かせないものであることから全力で取り組んでいる。近年猛威を振るう豪雨や豪雪など、依然として自然災害が多い東北地方における今後の道路整備については、地域の安全・安心を担保する対策が重要になっている。このような状況のもと、近年の道路を取り巻く最近の話題を提供する。

平成29年度

11月10日(金)

橋梁技術発表会

[東北地区]

参加申込方法



一般社団法人 日本橋梁建設協会
Japan Bridge Association Inc.

ホームページよりお申込み下さい。

<http://www.jasbc.or.jp/>

「技術発表会」
の申し込みはこちら。